

## 第17回 市長と話そう会（武雄商工会議所女性会）

日 時：平成30年7月12日（木）

14：30～16：00

場 所：武雄市庁舎ホール

参加者：商工会議所女性会 会員18名



市民の皆様と市長が直接語り合う「市長と話そう会」第17回目は、商工会議所女性会の皆さんとの意見交換を行いました。市長から「高齢者福祉」（高齢者福祉パッケージ事業）について話をし、その後会員様よりご意見をいただきました。以下、内容を抜粋して掲載しております。

### 【市長より】

高齢者の方々がそれぞれの趣味、生きがいを複数持つことで「つながり」の種類を増やすと困ったとき、災害のときなど助けあえる。また、趣味を見つける事でいきがいくくりになるので外に出る習慣をつけていただきたい。

キーワードは「社会みんなで〇〇をしよう」という事で、男性がどうすれば動くのか？男性の外出する機会を増やす必要がある。奥さんや娘さんから声をかける様にしてほしい。女性の後押しが必要であり、男性の外出機会を増やすきっかけづくりが大切である。

平成34年の新幹線開業を踏まえたまちづくりを進めていきたい。

### 【意見交換】

（参加者）高齢者福祉は今年度だけなのか？

（市長）毎年優先順位をつけて事業を行っている。子育て政策が一区切りついたので、次は「高齢者の福祉」に力を入れた。今後も力を入れていきたい。併せて移動手段の確保が必要であると考えている。

出発地点から目的地まで月に数回の定期的な移動手段と拠点（停留所等）から拠点までの、毎日の移動手段のどちらの要望が多いか調査を行い、高齢者のニーズに沿った移動手段を考えたい。

（参加者）災害時に高齢者で独居の方を誰がどの様に助けに行くのか？

（市長）自助、共助、公助が大事。とり分け大事なのは、地域のコミュニティである。一人ひとりの顔が見える関係を日頃から作って、地域で見守っていけるようにしていければと思う。